



平成25年3月期 第3四半期決算短信 [日本基準] (連結)

平成25年2月1日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 4044 URL <http://www.cgco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 大串 誠 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	125,603	1.8	6,111	64.6	7,622	73.5	4,554	75.1
24年3月期第3四半期	123,352	3.0	3,713	△23.4	4,392	△6.9	2,601	△7.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 5,664百万円 (767.0%) 24年3月期第3四半期 653百万円 (△57.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	21.77	-
24年3月期第3四半期	12.43	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	228,386	121,351	52.6
24年3月期	221,041	117,355	52.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 120,138百万円 24年3月期 116,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	3.00	-	3.00	6.00
25年3月期	-	4.00	-	-	-
25年3月期 (予想)	-	-	-	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,000	3.9	7,000	20.2	8,200	17.7	4,200	△2.4	20.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	214,879,975株	24年3月期	214,879,975株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	5,642,326株	24年3月期	5,627,713株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	209,248,912株	24年3月期3Q	209,274,418株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に回復基調にあるものの、欧州の財政問題の長期化や、中国を中心とした新興国の成長鈍化などにより、依然として厳しい状況となりました。しかしながら、12月の政権交代による景気対策への期待から株価の上昇や円安の流れとなり、景気回復の兆しも見え始めました。

このような経済状況のもとで、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は125,603百万円と前年同期比1.8%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は、前年同期比3,229百万円増加の7,622百万円となり、四半期純利益は前年同期比1,953百万円増加の4,554百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、国内建築需要が低調に推移しており、厳しい受注状況が続きましたため、売上高は前年同期を下回りました。

自動車用ガラスにつきましては、エコカー補助金の終了や中国向けの輸出減少等により国内需要に陰りが見られましたものの、昨年事業買収しました米国新会社 (Carlex Glass America, LLC) の売上寄与などで、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル関連製品の出荷が堅調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は68,115百万円 (前年同期比4.5%増) となり、408百万円の営業損失 (前年同期比1,703百万円の改善) となりました。

(化成事業)

化学品につきましては、主力製品の市況が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、医薬関連製品や半導体用リソグラフィ関連製品の出荷が低調に推移しましたため、売上高は前年同期を下回りました。

肥料につきましては、主力製品の出荷は堅調に推移しましたが、一部製品の販売を中止した影響もあり、売上高は前年同期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車用途における採用車種の出荷が好調に推移しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、化成事業の売上高は57,487百万円 (前年同期比1.1%減) となり、営業利益は6,518百万円 (前年同期比685百万円増) となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は228,386百万円となり、平成24年3月末に比較しまして7,345百万円増加しました。資産増減の主なものは、流動資産は、現金及び預金の増加などにより3,150百万円増加し、固定資産は、有形固定資産の増加、投資有価証券の時価上昇による増加などにより、合計で4,195百万円増加しました。負債は合計で3,349百万円増加しました。

純資産は121,351百万円となり、自己資本比率は、0.1%増加し52.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界経済の下振れ懸念が依然残るなど、当社グループを取り巻く環境は今後も予断を許さない状況が続くものと思われま

す。当社グループといたしましては、生産販売体制の強化と原価低減の推進など経営全般にわたる効率化を進め、基幹事業における構造改革を推進するとともに、研究開発及び技術開発を強化し、成長分野への経営資源の重点的な投入を行い、グループ企業力の強化に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間までの業績進捗状況を踏まえ、平成24年10月31日に公表いたしました通期の業績予想を修正し、以下のとおり見込んでおります。

売上高	1,740億円
営業利益	70億円
経常利益	82億円
当期利益	42億円

なお、通期の業績の見通しにおける第4四半期の前提条件につきましては、為替レートを85円/USドル、原油価格をCIF 113ドル/バレルとしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び一部の連結子会社では主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しました。

この変更は、海外事業において多額の設備投資を行っていることを契機に、グループ内の会計処理の統一を検討した結果、当社グループの有形固定資産において今後の使用形態をより適切に反映し、また、原価配分をより適切に損益に反映させるため望ましい方法であるとの判断から実施するものであります。

この変更により、当第3四半期連結累計期間の減価償却費は2,482百万円減少し、営業利益が1,977百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,988百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,958	22,485
受取手形及び売掛金	44,577	41,414
商品及び製品	24,858	26,188
仕掛品	1,521	1,750
原材料及び貯蔵品	10,492	10,946
その他	4,667	4,445
貸倒引当金	△295	△300
流動資産合計	103,780	106,930
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,468	22,338
機械装置及び運搬具（純額）	23,969	32,673
土地	24,623	24,530
建設仮勘定	9,006	3,191
その他（純額）	2,172	2,475
有形固定資産合計	82,239	85,208
無形固定資産		
のれん	209	55
その他	1,281	1,056
無形固定資産合計	1,491	1,111
投資その他の資産		
投資有価証券	29,044	30,616
その他	4,810	4,844
貸倒引当金	△324	△325
投資その他の資産合計	33,529	35,135
固定資産合計	117,261	121,456
資産合計	221,041	228,386

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,258	17,043
短期借入金	32,222	29,023
未払法人税等	2,089	1,393
賞与引当金	1,266	360
工事損失引当金	4	3
災害損失引当金	10	10
その他	17,531	18,866
流動負債合計	71,383	66,702
固定負債		
社債	400	10,400
長期借入金	15,097	12,867
退職給付引当金	8,191	7,819
役員退職慰労引当金	50	36
特別修繕引当金	4,059	4,530
環境対策引当金	165	148
その他	4,336	4,530
固定負債合計	32,301	40,333
負債合計	103,685	107,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	90,373	93,462
自己株式	△2,837	△2,841
株主資本合計	113,821	116,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,685	7,809
繰延ヘッジ損益	389	140
為替換算調整勘定	△4,885	△4,719
その他の包括利益累計額合計	2,189	3,231
少数株主持分	1,345	1,213
純資産合計	117,355	121,351
負債純資産合計	221,041	228,386

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	123,352	125,603
売上原価	93,615	94,350
売上総利益	29,736	31,253
販売費及び一般管理費	26,023	25,141
営業利益	3,713	6,111
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	651	523
貯蔵品売却益	268	642
為替差益	—	514
持分法による投資利益	62	32
その他	1,523	1,070
営業外収益合計	2,514	2,791
営業外費用		
支払利息	402	370
為替差損	164	—
固定資産廃棄損	348	417
その他	919	492
営業外費用合計	1,834	1,280
経常利益	4,392	7,622
特別利益		
固定資産売却益	84	—
投資有価証券売却益	—	5
負ののれん発生益	291	—
特別利益合計	376	5
特別損失		
固定資産売却損	19	94
投資有価証券評価損	68	121
合弁契約解消に伴う損失	—	282
特別損失合計	87	499
税金等調整前四半期純利益	4,681	7,129
法人税等	1,977	2,521
少数株主損益調整前四半期純利益	2,704	4,607
少数株主利益	103	52
四半期純利益	2,601	4,554

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,704	4,607
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,246	1,122
繰延ヘッジ損益	△11	△248
為替換算調整勘定	△720	112
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	69
その他の包括利益合計	△2,051	1,056
四半期包括利益	653	5,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	585	5,596
少数株主に係る四半期包括利益	68	67

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

I 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	65,206	58,145	123,352	—	123,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,286	1,001	3,288	△3,288	—
計	67,492	59,147	126,640	△3,288	123,352
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△2,111	5,832	3,721	△8	3,713

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

II 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「ガラス事業」セグメントにおいて、当社の米国子会社であるCarlex Glass America, LLCはZeledyne L.L.C.より一部資産及び事業を取得したことにより、負ののれん発生益を計上しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては291百万円であります。

2 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,115	57,487	125,603	—	125,603
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8	1,603	1,611	△1,611	—
計	68,124	59,090	127,215	△1,611	125,603
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△408	6,518	6,110	0	6,111

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載の通り、有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び一部の連結子会社では主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しました。これに伴い、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間においてガラス事業のセグメント損失が832百万円減少し、化成事業のセグメント利益が1,145百万円増加しております。